

# 令和4年度 都立雪谷高等学校 全日制課程 学校経営計画報告

## 1 今年度の取組と自己評価

本校は、学問を愛し知性を高めるとともに、体力の向上に努め、健全な心身を養う。また、人権を尊重し協調及び互助の精神の育成と、地域理解を深め、国際的な視野に立って社会に貢献する人間の育成を図る学校を目指す。

### (1) 「チーム雪谷」

生徒・保護者・同窓会・地域・教職員が一つの“チーム”となって団結し、生徒一人一人にきめ細かな指導を行い、すべての生徒の進路希望を実現できる学校

### (2) 「自ら学び考え表現する」

生徒一人一人が家庭学習で十分な予習・復習を行い、知的探究心を養い、学習の意義を理解し、自ら学び考え、表現する力を身に付ける学校

### (3) 「努力の汗を感動の涙に」

生徒全員が本気で学校行事や部活動に取り組み、達成感や成就感を得て、学校と自分自身に誇りをもてる学校

### (4) 「地域社会に貢献」

地域に根差した教育活動の推進し、奉仕活動や生徒会活動・部活動を通して連携を深め、社会に貢献できる人材を育成する地域に信頼される学校

令和4年度「学校経営計画」 数値目標及び結果については以下のとおりである。

令和4年度 数値目標	令和4年度 数値目標の結果
<b>1 学校運営</b> (1) 若手研修学習会 10回以上 (2) 研究授業 20回以上 (3) 校内研修 3回 (4) PDCA会議 3回	<b>1 学校運営</b> (1) 若手研修学習会 2回 (2) 研究授業 21回 (3) 校内研修 2回 (4) PDCA会議 3回
<b>2 学習指導</b> (1) 生徒の自主学習時間 ア 第1学年2時間(120分)以上 イ 第2学年3時間(180分)以上 ウ 第3学年4時間(240分)以上 (2) 長期休業日中の講習 60講座以上 (3) 授業満足度 80%以上 (4) 英語検定(実用英語検定) 準2級以上 80名以上 (5) GTZ(学力基準)各教科 A1 10人以上 B1 120人以上	<b>2 学習指導</b> (1) 生徒の自主学習時間 ア 第1学年 平日 58分 休日 93分 イ 第2学年 平日 38分 休日 55分 ウ 第3学年 平日 203分 休日 251分 (2) 長期休業日中の講習 講座総数 38講座 (3) 授業満足度 92% (4) 英語検定(実用英語検定) 準2級以上 83名 (5) GTZ(学力基準)各教科 令和4年11月模試について  1年生国語 A1 9人 B1 121人 1年生数学 A1 6人 B1 97人 1年生英語 A1 12人 B1 118人  2年生国語 A1 7人 B1 45人 2年生数学 A1 3人 B1 44人 2年生英語 A1 8人 B1 62人

<p>3 生活指導  (1) 遅刻生徒（1日あたり） 8人（0.01%）  (2) 特別指導対象件数 0人</p> <p>4 進学指導  (1) 4年制大学進学実績（現役合格者）  80%以上  (2) 大学入学共通テストの受験者数  90%以上  (3) 大学入学共通テスト各教科の平均点  全国平均以上（全科目）</p> <p>(4) 国公立大学・難関大学合格者数  25名以上  (5) GMARCH合格者数  80名以上  (6) 進路決定率  90%以上</p> <p>5 特別活動・部活動  (1) 部活動加入率 95%以上  (2) 特別活動満足度 90%以上  (3) 部活動満足度 90%以上  (4) 関東大会以上の大会への参加 4部</p> <p>6 体力向上  体力テスト合計得点 全国平均以上</p> <p>7 募集・広報活動  (1) ホームページ更新 250回以上  (2) 応募倍率  推薦 3.0倍以上  学力選抜 1.5倍以上  (3) 学校見学・学校説明会参加者  5000名以上</p> <p>8 経営企画室経営  第3四半期予算執行率 90%以上</p>	<p>3 生活指導  (1) 遅刻生徒（1日あたり）10.8人（0.01%）  (2) 特別指導対象件数 3人</p> <p>4 進学指導  (1) 4年制大学進学実績（現役合格者）  86.1%  (2) 大学入学共通テストの受験者数  90%  (3) 大学入学共通テスト各教科の平均点  全国平均以上は 17科目  全国平均以下は 5科目  (4) 国公立大学・難関大学合格者数  34名  (5) GMARCH合格者数  115名  (6) 進路決定率  90%以上</p> <p>5 特別活動・部活動  (1) 部活動加入率 88%  (2) 特別活動満足度 91%  (3) 部活動満足度 94%  (4) 関東大会以上の大会への参加 1部</p> <p>6 体力向上  体力テスト合計得点 全種目で東京都平均以上  全国平均を超えない種目もある</p> <p>7 募集・広報活動  (1) ホームページ更新 64回  (2) 応募倍率  推薦 4.04倍  学力選抜 1.86倍  (3) 学校見学・学校説明会参加者  1144名</p> <p>8 経営企画室経営  第3四半期予算執行率 78%</p>
--	---

#### ○数値目標について

達成できた項目は、研究授業、PDCA会議、授業満足度、英語検定、4年制大学進学実績（現役合格者）、大学入学共通テストの受験者数、国公立大学・難関大学合格者数、GMARCH合格者数、進路決定率、特別活動満足度、部活動満足度、応募倍率（推薦・学力選抜）であり、達成できなかった項目は、若手研修学習会、校内研修、生徒の自主学習時間（1・2・3学年）、長期休業日中の講習、GTZ（学力基準）各教科、遅刻生徒（1日あたり）、特別指導対象件数、大学入学共通テスト各教科の平均点、部活動加入率、関東大会以上の大会への参加、体力テスト合計得点、ホームページ更新、学校見学・学校説明会参加者、第3四半期予算執行率である。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策による教育活動の制限が続く中、既存の教育方法を生かしつつ、ICTを活用した授業を取り入れながら、生徒と教職員の実態やニーズにあった指導方法を構築する必要がある。今後は、全教職員が数値目標に対する認識を一層深め、学習指導、生活指導や進路指導について、校内の体制を見直し、改善していくことで、数値目標のさらなる達成を図れるような組織的な学校運営の実現が課題である。

## (1) 教育活動への取組と自己評価

学校評価アンケートの結果その他から今年度の教育活動を検証していく。※( )内は昨年度  
ア 「雪谷高校に入学したことに満足していますか」について、生徒は89.1% (92.0%)、保護者は95.2% (94.2%) が肯定的な回答をした。

イ 「わかりやすい授業をしていると思いますか」について、肯定的回答をした生徒は85.0% (82.5%)で、保護者は88.7%(61.9%)が肯定的に回答した。昨年度より生徒、保護者とも改善している。

ウ 「授業の進度・内容・レベルは適切だと思いますか」について、生徒の85.2%(83.4%)、保護者の86.6%(61.6%)が肯定的に回答した。授業評価アンケートの分析により、引き続き改善に向けた取組を実施していく。

エ 「本校の進路に関する情報提供や相談活動は充実していると思いますか」について、生徒の87.1%(85.6%)、保護者の72.6%(65.7%) が肯定的に回答した。保護者への進路に関する情報発信が課題である。

オ 「本校の生活指導(服装や頭髪等)は適切だと思いますか」について、生徒の80.1% (76.7%)、保護者の91.4%(85.6%) が肯定的に回答した。組織的な生活指導を進めていることが保護者の理解を得ている。生徒に対しては、自ら意識して正しい生活習慣が身につけられるよう毎日指導をしていく。

カ 「本校の学校行事は充実していると思いますか」は、生徒の91.2%(86.9%)、保護者の91.4%(83.4%)が肯定的に回答した。新型コロナウイルス感染症対策による行事の実施方法を工夫して行ったことにより、改善したと考えられる。

## (2) 重点目標への取組と自己評価

### ア 授業研究・授業改善

「生徒による授業評価」の結果についての全教職員による校内研修及び授業改善策の策定については、計画的・組織的に実施できた。また、発展的な学習を希望する生徒に対し、第2学年で「難関大学トレーニングセンター」を放課後や週休日に実施し、大学入試に向けた実力をつけさせる講習を実施した。毎朝10分間の朝学習が定着している。今後も引き続き、模試分析の充実、教科主任会の充実、相互の授業参観、他校の研究授業への参加などの積極的な取組をより一層進めていく必要がある。

### イ 家庭学習時間の確保と主体的に学習する態度の育成

学ぶ力の育成については、家庭学習時間の確保と主体的に学習する態度(自学自習)の育成、部活動と学習の両立について部活動顧問と連携し取り組んだ。

さらに、難関校を目指している生徒の指導の充実のため第2学年と進路指導部が連携し、第2学年から「難関大学トレーニングセンター」を実施している。第1学年の「スタディキャンプ」、夏の全学年希望者対象の「勉強合宿」、第2学年の冬の「受験勉強スタートアップ講習会」など主体的に学ぶ力を向上させる取組を実施した。

### ウ 規範意識とルール・マナー

規範意識とマナーについては、「雪谷高校生活指導統一基準」に基づき、組織的で明確な生活指導を実施した。自転車通学のマナーに対する苦情も減少している。「雪谷SNSルール」や「身に付けさせる規範意識」を作成し、適切な規範意識の醸成を行った。メンタル面が不安定な生徒への対応として、学年担任や生活指導部、養護教諭、スクールカウンセラーを中心に、家庭との連携を密に組織的で丁寧な対応を行った。

### エ 本校の教育活動の積極的な情報発信

本校の良さや教育活動を積極的にPRするために、全教職員が学校像を共有し、3年間の学校生活を説明できるようにしたことで、一貫性をもった広報活動ができた。同時に、生徒会生徒の協力による、生徒の主体性を生かした学校説明会を実施した。学校説明会内では、部活動生徒による全校応援(受験生応援版)を実施し、生徒の母校愛の醸成に繋げた。

推薦受検倍率は、4.04倍、学力検査受検倍率は1.86倍と数値目標を達成した。今後も広報活動の改善を行い、より一層の充実を図る。

#### オ 保護者・同窓会・地域との連携の強化

電子メールを活用し、関係各方面との連携を密に取り、学校の教育活動の情報を共有する機会を多くした。進路指導部が1・2学年対象に、3年生の大学進学内定者や卒業生による講演を聴く機会を企画した。令和5年度の創立110周年にむけて、更に連携の強化を進める。

#### カ 危機管理能力の向上

年4回の避難訓練を実施し、東京防災や東京マイ・タイムラインを活用した安全学習および安全指導により災害時の危機管理能力を向上させた。また、消防署、大田区、自治会地域と連携した防災訓練に課題があり、今後考えられる災害の対応の検討などについて連携していく。

### 2 次年度以降の課題と対応策

本校生徒の良さを活かしながら、生徒の伸びる可能性を信じ、教職員全員が生徒の学力向上、進路実現のために取り組んで行く必要がある。また、キャリア教育を充実させ、生徒一人一人に「生きる力」を身に付けさせる指導を行っていくことが重要である。

#### (1) 学力の向上（家庭学習の時間を確保させる指導、朝学習の実施、大学入試対応の授業の充実と学力の差に応じたきめ細かい指導、教員相互の授業参観や校内研修の実施）について

I C Tリーダーを中心に、教員研修、I C Tを活用した研究授業を若手教員全員及び、プロジェクトチームの委員を中心に各教科で実施したことにより、I C T機器を活用し生徒の課題解決力、想像力、協働力、情報活用能力などの資質・能力の育成を図るための授業・指導案の作成をしている。さらに、教員研修の実施により、I C Tを活用した授業等のより一層の充実に向けて、学校全体で積極的に取り組み、学力の向上を図る。

#### (2) 「希望の進路」の実現に向けたキャリア教育の充実と生きる力の育成について

外部講師による講演の充実、週休日や長期休業日等における補習の拡大、大学との連携を入学時の早い段階から学年・教科や進路部を中心に組織的に計画的に実施する。また、総合的な探究の時間の充実をとおして、生徒に探求的な学びを身につけさせる。

#### (3) 「文武両立」の推進について

自習室の活用や、部活動単位での勉強会をさらに拡大・充実させていく。部活動については、顧問と部活動指導員や外部指導員との一層の連携を図る。自習室や講習・補習を充実させ、学習と部活動との両立を図る。

#### (4) 「生活指導統一基準」規範意識やマナーを高める指導について

全教員の協力体制による身だしなみ指導、交通ルールや自転車のマナーを守る指導、「雪谷SNSルール」を基に携帯・スマホ等のマナー指導、部活動を中心とした挨拶・地域清掃運動)を充実させ組織的定期的実施する。

#### (5) ホームページや学年通信等による情報発信について

生徒・保護者だけでなく、P T Aや同窓会と連携し、生徒のさまざまな活躍や本校の良さを情報発信し、教育活動の充実をより一層進めていく。

#### (6) 学校運営連絡協議会の充実について

分掌組織マネジメント(P D C A)の取組、成果・課題、改善方策や学校評価アンケートの結果などについて学校運営状況報告を行い、改善に向けた意見を取りまとめる。